



校訓： いきおい うるおい まとまり

令和3年度

連南中だより

倉敷市立連島南中学校



第21号

令和4年2月22日

○2月18日（金）3年生「いのちの授業」講演会

まもなく卒業を迎える3年生を対象に、浅桐産婦人科の助産師 にいなかなおみ 新中直美先生にビデオによる講演をしていただきました。事前アンケート「あなたは自分のことが好きですか」に対する答えなど、身近な話題から始まり、家族のことや人と接する時の心構え、身体のことなどを具体的な例を挙げながら分かりやすくお話していただきました。生徒の感想を紹介します。

- ・ 進路のことでいろいろ悩んでいる時期に、この講演を聞いたら、自分と向き合うことがどれだけ大切なのかが分かりました。

今まで“自分で何だろう”っていうことを考えたことがなかったから、この疑問について考えてみました。自分は人より何かずば抜けてできることはないけど、ちゃんと好きなものを好きって言える、自分の気持ちに正直で素直でいられるのが自分なんだなって思いました。今日、そんな自分がちょっと好きになりました。

- ・ 助産師の仕事は本当に大変だなと感じましたが、同時に命が宿る瞬間を見ることができ、やりがいのある仕事だなと思いました。人のことを好きになるのはいいことだけど、軽い気持ちで性的接触をするのはよくないなと思いました。

- ・ 私が生まれた時も、たくさんの人に囲まれて喜ばれていたんだなと思うと、温かい気持ちになりました。私が家族を大切に思うのと同じくらい、家族も私を大切に思ってくれていたんだなと思いました。

普段何気なく過ごしていると、「いのち」について考えることはあまりないので、今回の授業はその貴重な機会になりました。人は様々な違いがあるけれど、それでも同じ仲間として、自分も含めて全ての人を受け入れていきたいと思います。

- ・ 私の家族はがんになりやすい家系なので、予防接種や検査などをやらなくては、と改めて思いました。

- ・ 水着でかくれる所と口と心のことを「プライベートゾーン」ということを知りました。性教育は心と体の教育ということが分かりました。

「ボディ・オートノミー」って知っていますか？

「ボディ・オートノミー」とは、「からだの自己決定権」。つまり「自分の身体は100%自分のものであり、自分が不快だと感じることにはNOという権利がある。」ということです。「ボディ・オートノミー」は基本的人権です。

しかし、現実には大人と子どもの中で、子ども同士、異性間、同性間で、性的虐待や性暴力被害という形で侵害されているケースが少なくないようです。被害にあった場合第三者に相談することは勇気がいります。何もしないまま事態がエスカレートしていくと、その後の人生に大きな影を落とします。「自分の身体について自分で決定する権利があり、それを行使する力があるのだ」と主張すること、「イヤだな、おかしいな」と感じたら信頼できる人や相談機関に相談すること、心のどこかに留めておいてください。

参考資料：世界人口白書 2021「わたしのからだはわたしのもの」